

2017年11月15日

千葉県知事  
森田健作様

社会民主党千葉県連合  
代表 小宮清子

千葉県政に対する要求・要望書

県政発展のための御活躍に、心より敬意を表します。

次のとおり2018年度の県政に対する要求・要望を提出しますので、県民のいのちと暮らしを守ることを最優先に、県政へ反映していただきますようお願い申し上げます。

なお、この要求・要望に対する県の方針、考え及び進捗状況等について文書による御回答をお願い申し上げます。

〔重点事項〕

- 1、我が国の最高法規である日本国憲法を遵守し、県政を運営していく立場から、権力制限規範としての憲法の役割を踏まえ、拙速な審議によって憲法改正が発議されることがないように国に働きかけること。
- 2、交通インフラや新たな工業団地等産業を支える基盤整備、中小企業の新たな事業展開、新エネルギー導入、若者や女性、高齢者などの就労及び起業の促進などの効果を明らかにすること。
- 3、高齢社会が進み、高齢者の増加率が速い千葉県は、全国に比べ、介護職員不足、医師・看護師不足、特別養護老人ホーム定員数が少ないなか、千葉県としてどのような対策を進めるのか明らかにすること。
- 4、東電福島第一原発事故は、千葉県にも深刻な影響を与えていることから、千葉県としての「原発ゼロ」に向けた政策、「再生可能エネルギー導入」の進捗状況を明らかにすること。
- 5、「原発事故子ども・被災者支援法」に基づき、汚染状況重点調査地域を支援対象地域に含めるようにすべきと考えるが、県としての考え方を明らかにすること。
- 6、「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の普及と実効ある施策の進捗状況を明らかにすること。
- 7、若年者、女性及び障がい者の安定雇用を得るための支援を積極的に行うこと。また、労働者派遣法改正法（2015年9月30日施行）以前と以降の県内における派遣労働者の派遣先への直接雇用者数の推移を明らかにすること。
- 8、消費税増税は、経済状況から再延期されているが、10%への引き上げを取りやめるよう国に求めること。また、所得税及び法人税の最高税率を引き上げ、累進性を強化するよう国に求めること。
- 9、マイナンバーの社会保障分野への利用は行わないよう国に働きかけること。